

事業シート（概要説明書）

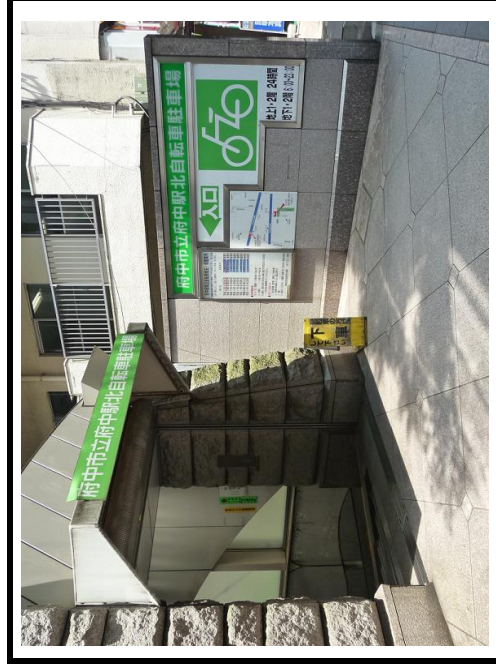
事務事業名	駅周辺自転車対策事業	事業開始年度	
上位施策事業名	安全な交通環境の整備	担当部名	環境安全部
根拠法令	府中市自転車の放置防止に関する条例	担当課・係名	地域安全対策課
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	堀口 純伸
事業の必要性・実施の背景	自転車は手軽で環境にやさしい乗り物であり、さらに近年の健康志向の高まりから、利用者は増加傾向にあります。一方、駅周辺には放置自転車が絶えないことから、高齢者や身体に障害のある方など交通弱者が安心して通行できる環境を阻害しています。このことから、継続的な放置自転車対策を講じる必要がある。		
目的 (何をどうするために)	駅周辺等における自転車の放置を防止し、市民の良好な生活環境を確保する。		
目標 (何がどうなれば達成か)	放置自転車のない、良好な生活環境を確保すること。		
対象 (誰・何を対象に)	市民（府中市民数 平成23年7月1日現在 247,817人）		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理（委託先又は指定管理者：公益社団法人府中市シルバー人材センター）		
	<input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕（補助先： 実施主体： ）		
	<input type="checkbox"/> 貸付（貸付先： ） <input type="checkbox"/> その他（ ）		
事業概要	<p>○市内各駅周辺に自転車誘導員を配置し、自転車駐車場への誘導員及び自転車利用のマナー啓発等を実施。</p> <p>○市内10駅周辺を自転車放置禁止区域に指定し、放置自転車の撤去活動を実施。放置自転車は撤去後、自転車保管所に搬送。</p> <p>○放置自転車は、告示後60日間自転車保管所で保管。</p> <p>○保管した自転車は、警察に照会し所有者を確認。所有者には通知を行い引き取りを促す。なお、返還の際に撤去料2,000円及び保管料1日50円を徴収する。</p> <p>○引取のない自転車は、リサイクル事業及び海外供与事業、または売却処分を行う。</p> <p>駅周辺の道路、広場、公園その他公共の場所で、歩行者等の通行障害となる自転車を排除するため自転車駐車場へ誘導、自転車駐車場内の整理、危険排除及び自転車利用者に対する正しい自転車利用の指導を行う。</p> <p>○各駅周辺に6か所の有料市立自転車駐車場と16個所の無料自転車駐車場を設置。その他、財団法人自転車整備センターの協力による自転車駐車場19個所を整備。</p> <p>【委託料内訳（22決算）】</p> <p>①自転車駐車場及び駅周辺環境整備委託…自転車誘導整理業務等 68,509千円</p> <p>②自転車撤去・搬送業務委託…放置自転車の撤去・搬送業務 15,004千円</p> <p>③自転車保管所管理業務委託…保管自転車の返還業務 16,831千円</p> <p>④自転車駐車場除草委託…自転車駐車場の除草 432千円</p> <p>※①～④はいずれもシルバー人材センターへ委託。</p> <p>※平成21～23年度に都支出金（東京都緊急雇用創出事業臨時特例交付金）を活用。</p> <p>※その他、駅周辺自転車駐車場台数調査273千円、不燃ごみ収集運搬処理処置委託218千円あり。</p>		
事業内容 (手段、手法など)	<p>※当該事業以下に細事業がある場合は、事業費とともに記載</p>		
関連事業 (同一目的事業等)	自転車駐車場管理運営費		

事業シート（概要説明書）

事務事業名		駅周辺自転車対策事業				事業開始年度				
コスト	事業費	23年度（予算）		22年度（決算）		21年度（決算）		20年度（決算）		
		報酬	0千円		0千円		0千円		0千円	
		委託料	102,224千円		101,267千円		100,459千円		95,138千円	
		需用費	1,324千円		1,317千円		1,707千円		1,105千円	
		役務費	1,011千円		817千円		1,020千円		954千円	
		使用料等	2,177千円		2,155千円		373千円		1,903千円	
	事業費合計	106,736千円		105,556千円		103,559千円		99,100千円		
	人件費	担当正職員	1.0人	8,370千円	0.82人	7,168千円	1.0人	9,349千円	1.2人	10,745千円
		嘱託員	人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
人件費合計		1.0人	8,370千円	0.82人	7,168千円	1.0人	9,349千円	1.2人	10,745千円	
総事業費	115,106千円		112,724千円		112,908千円		109,845千円			
財源内訳	国都支出金	16,486千円		16,328千円		3,784千円		千円		
	有価物売払収入	96千円		115千円		96千円		101千円		
	撤去・保管料収入	10,500千円		8,180千円		8,977千円		10,076千円		
	一般財源	88,024千円		88,101千円		100,051千円		99,668千円		
	財源合計	115,106千円		112,724千円		112,908千円		109,845千円		
事業実績	活動実績	【活動指標名】			単位	H22年度	H21年度	H20年度		
		撤去台数				台	7,953	8,468	9,442	
		返還台数				台	4,145	4,571	5,122	
	効率指標 (事業費/活動指標)	総事業費	/	撤去台数	千円	13.3	12.2	10.5		
事業成果	成果実績 (事業目標達成状況)	【成果指標名】			単位	H22年度	H21年度	H20年度		
		放置自転車台数				台	405	887	564	
		自転車総利用台数に対する放置自転車の割合				%	2.5	6.2	3.6	
	【備考】									
事業の自己評価	課題等	自転車利用者のマナー向上を啓発するとともに、自転車の駐車場需要を発生させる、鉄道事業者や店舗経営者に対し、駐車場用地の提供及び設置協力を求めていきたい。								
	今後の方向性	駅利用者に対する自転車駐車場整備及び放置自転車対策については現状継続により、良好な生活環境の確保はできると考えるが、今後は、買物客に対する対策が必要である。								
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	撤去台数（平成21年度） 武蔵野市25,870台、八王子市20,198台、調布市16,891台、立川市11,930台、小金井市9,091台									
特記事項 (事業の沿革等)	昭和58年6月 府中市自転車の放置防止に関する条例制定									

府中市の放置自転車対策

放置自転車の減少に向けて



市立有料自転車駐車場 5箇所 無料 16箇所
(財)自転車駐車場整備センター有料自転車駐車場 18箇所

鉄道駅 14駅周辺

自転車駐車場 39箇所

収容台数 21,292台

*平成23年6月現在



歩道上に設けられた臨時自転車置場

けやき並木 “ちょこりんスポット”

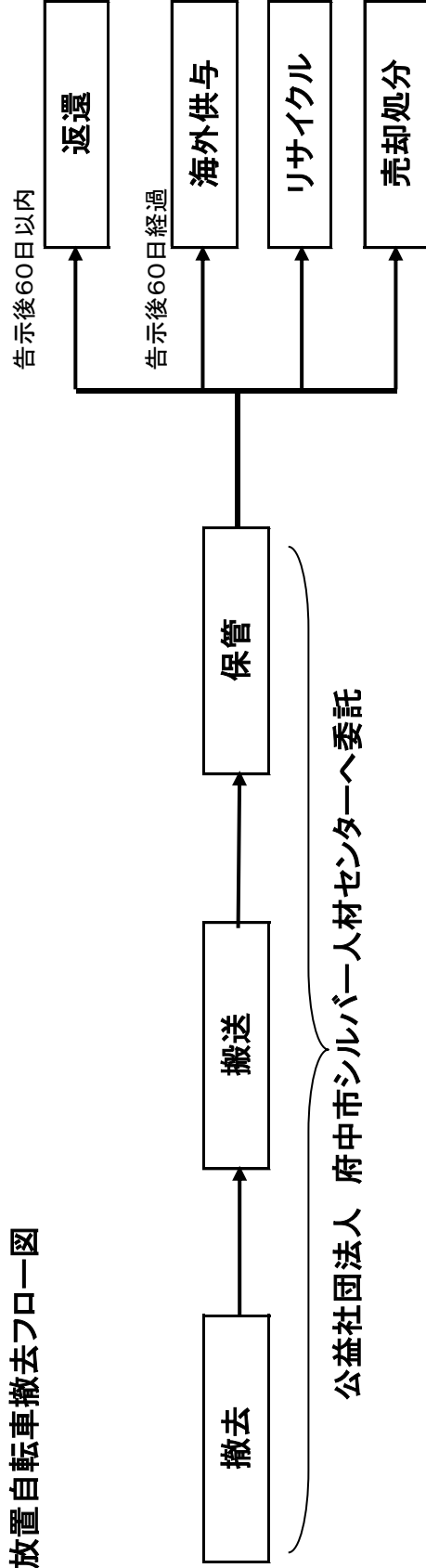


放置自転車の撤去
(放置禁止区域指定鉄道駅10駅周辺)

*平成23年6月現在

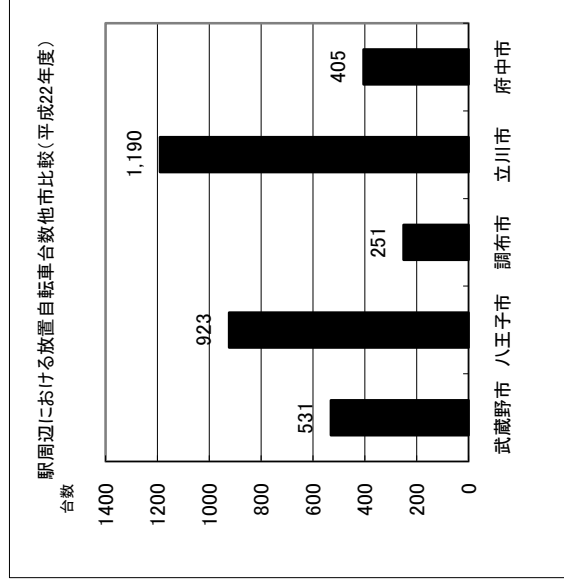
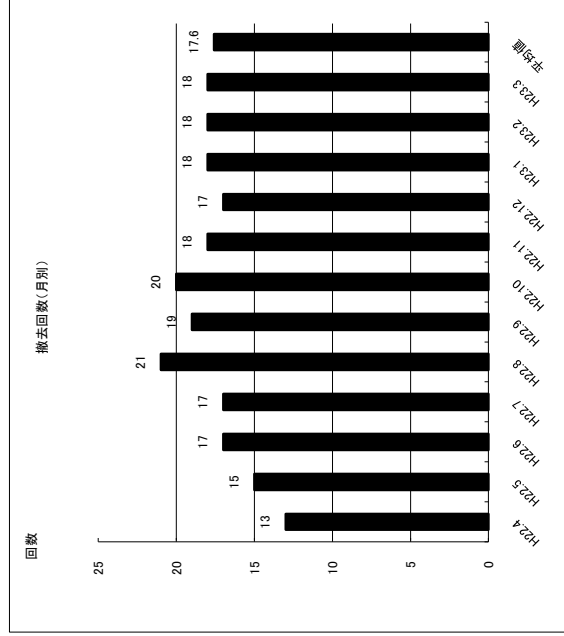
西府駅周辺平成23年9月1日放置禁止区域指定

◎放置自転車撤去フロー図



放置自転車撤去にかかる人員配置・業務分担表

	業務内容	人数
府中市	駅周辺自転車対策総括	3
	自転車駐車場及び駅周辺環境整備委託	58
	自転車撤去・搬送業務	13
	自転車保管所管理業務	10



事業シート（概要説明書）

事務事業名	ごみ減量運動啓発事業	事業開始年度	昭和56年度
上位施策事業名	ごみ減量化・資源化の推進	担当部名	環境安全部
根拠法令		担当課名	ごみ減量推進課 リサイクル係
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	今坂英一
事業の必要性・実施の背景	近年の地球温暖化や資源の枯渇などの環境問題への取組みが求められており、その一環として、ごみ減量とリサイクルを推進するため平成22年2月2日からダストボックスを撤去し、家庭ごみの有料化、戸別収集を実施した。しかしながら、さらなるごみ減量・リサイクルを推進するために、市民や事業者等への啓発活動が必要不可欠である。		
目的 (何をどうするために)	ごみ減量・リサイクルを推進するためには、ごみを排出する市民や事業者の理解と協力が大変重要であり、そのための各種啓発活動を実施する。		
目標 (何がどうなれば達成か)	循環型社会の形成（当面の目標は、ごみ減量50%削減・リサイクル率の日本一）		
対象 (誰・何を対象に)	すべての市民（118,935世帯6/1現在）及び事業者（8,826事業所 平成21年経済センサス）		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理（委託先又は指定管理者：）		
	<input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕（補助先： 実施主体：）		
	<input type="checkbox"/> 貸付（貸付先：） <input type="checkbox"/> その他（）		
事業内容 (手段、手法など) ※当該事業以下に細事業がある場合は、事業費とともに記載	<p>◎ごみゼロキャンペーンの実施…5月30日、府中駅周辺でティッシュ配布、ごみ相談。</p> <p>◎ごみ減量、リサイクル推進大会の開催…グリーンプラザ けやきホールでパネルディスカッション、各地域でのリサイクル活動の啓発。</p> <p>◎リサイクルフェスタ…年2回春と秋に大々的なフリーマーケットの開催、関係各団体によるリサイクル啓発活動。（ただし、平成22年度の秋開催日予備日が台風のため中止）</p> <p>◎文化センターまつり等のイベントでのPR…11センターまつりの一角にブースを設け、パネル展示、ごみ分別ゲーム等で啓発活動。</p> <p>◎ポスターコンクールの実施…市内の小中学校にごみ減量をテーマに作成してもらい、有識者に順位をつけてもらい、優秀者の表彰をする。</p> <p>◎親子リサイクル教室の実施…夏休みの1日、牛乳パックやペットボトル等を使いおもちゃなどを作成し、リサイクルを楽しく勉強してもらう教室。</p> <p>◎学校への出前説明会の実施…申込みをいただき、授業の一環で、ごみ減量、リサイクルの話しを指導員（職員）が行い楽しく学んでもらう。</p> <p>◎各種啓発シールの作成…戸別収集時に「次の理由で収集できません」など</p> <p>◎のぼり旗懸垂幕の作成…「リサイクル日本一」「ごみ減量50%」「マイバック持参」等</p> <p>◎ローラー作戦（自治会などの団体に出張説明会）の実施</p> <p>◎バス見学会の実施…リサイクルプラザ、多摩川衛生組合、民間施設等のごみ施設の見学。</p> <p>◎ごみ資源の出し方カレンダー…38種類、ごみ資源分別辞書の作成と配布</p> <p>◎ごみ新聞『府中のごみ』の作成と配布…年2回</p> <p>◎不法投棄防止パトロール業務委託（緊急雇用対策事業）</p>		
関連事業 (同一目的事業等)	・環境フェスタ・グリーンフェスタ・広報「ふちゅう」		

事業概要

事業シート (概要説明書)

事務事業名		ごみ減量運動啓発事業				事業開始年度		昭和56年度	
		23年度 (予算)		22年度 (決算)		21年度 (決算)		20年度 (決算)	
コスト	事業費	報酬	148 千円	60 千円	407 千円	116 千円			
		委託料	38,920 千円	15,331 千円	31,853 千円	6,137 千円			
		需用費	3,047 千円	9,458 千円	109,102 千円	6,604 千円			
		役務費	554 千円	89 千円	444 千円	86 千円			
		使用料等	353 千円	121 千円	595 千円	304 千円			
		事業費合計	43,022 千円	25,059 千円	142,401 千円	13,247 千円			
人件費	担当正職員	0.82 人	6,863 千円	0.82 人	7,169 千円	1.69 人	15,801 千円	3.85 人	34,480 千円
	嘱託員	人	千円	人	千円	人	千円	0.17 人	592 千円
	臨時職員	人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
	人件費合計	0.82 人	6,863 千円	0.82 人	7,169 千円	1.69 人	15,801 千円	4.02 人	35,072 千円
総事業費		49,885 千円		32,228 千円		158,202 千円		48,319 千円	
財源内訳	国都支出金	27,585 千円		9,887 千円		3,327 千円		千円	
	地方債	千円		千円		千円		千円	
	その他特財	千円		千円		千円		千円	
	一般財源	22,300 千円		22,341 千円		154,875 千円		48,319 千円	
	財源合計	49,885 千円		32,228 千円		158,202 千円		48,319 千円	
事業実績	【活動指標名】			単位	H22年度	H21年度	H20年度		
	地域説明会(ごみの分別方法、出し方等)参加人数			人	1,201	533	732		
	ポスターコンクール応募数			点	496	311	235		
	リサイクルフェスタ参加者数			人	10,000	13,000	10,000		
	効率指標 (事業費/活動指標)	ポスターコンクール 事業費 / 応募数		円	58	108	134		
事業成果	【成果指標名】			単位	H22年度	H21年度	H20年度		
	ごみ量の削減率			%	38.2	15.7	13.6		
	リサイクル率			%	44.4	37.6	39.7		
	【備考】 ごみ量の削減率は、平成13年度のごみ量に対する削減率で、平成25年度までに50%削減を目指している、								
事業の自己評価	課題等	ごみ減量・リサイクルを推進し、循環型社会を形成するためには、市民・事業者の理解が不可欠であるため、さらなる啓発活動が必要である。							
	今後の方向性	本市では、ごみ減量50%削減・リサイクル率の日本一の目標を掲げており、市民・事業者との協働によるごみ減量を展開し、目標達成を目指すとともに、循環型社会の実現を図る。							
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	多摩地域のリサイクル率ベスト10 (平成21年度) 1位 調布市 51.3%、2位 小金井市 50.11%、3位 東村山市 43.8%、4位 三鷹市 43.8%、5位 国分寺市 41.3%、6位 西東京市 40.4%、7位 狛江市 38.3%、8位 羽村市 38.2%、9位 武蔵野市 38.1%、10位 清瀬市 38.0%、11位 府中市 37.6%								
特記事項 (事業の沿革等)	事業開始年度の昭和56年度から平成9年度は、啓蒙で平成10年度から啓発となった。昭和61年に「第1回府中市ごみ減量対策標語コンクール」が開催され、現在はポスターコンクールで第19回を数える。								

事業シート事業内容詳細

◎ごみゼロキャンペーンの実施 5月30日、府中駅周辺でティッシュ配布、ごみ相談。

500人（ティッシュ1箱）他にNPO法人リサイクル推進協会は、4,500人

◎ごみ減量、リサイクル推進大会の開催 グリーンプラザけやきホールでパネルディスカッション、各地域でのリサイクル活動の啓発。

参加470人 事業費 約192,000円 使用料117,400円 講師謝礼19,500円 大会記念品12,000円 消耗品他

◎リサイクルフェスタ 年2回春と秋に大々的なフリーマーケットの開催、関係各団体によるリサイクル啓発活動。
（ただし、平成22年度の秋開催日予備日が台風のため中止）

参加約10,000人

◎文化センターまつり等のイベントでのPR 11センターまつりの一角にブースを設け、パネル展示、ごみ分別ゲーム等で啓発活動。

参加約1,100人 各センター100人程度 （PR用パネルの作成 約60,000円）

◎ポスターコンクールの実施 市内の小中学校にごみ減量をテーマに作成してもらい、有識者に順位をつけてもらい優秀者の表彰をする。

応募数496点 審査好評謝礼5,600円 大会記念品23,000円 消耗品他 ごみ減量リサイクル推進大会で表彰

◎親子リサイクル教室の実施 夏休みの1日、牛乳パックやペットボトル等を使いおもちゃなどを作成し、リサイクルを楽しく勉強してもらう教室。

参加数 13組38人 実施日8/17 消耗品費11,193円

◎学校への出前説明会の実施 申込みをいただき、授業の一環で、ごみ減量、リサイクルの話しを指導員（職員）が行い楽しく学んでもらう。

◎ローラー作戦の中で学生で回答

ポスターの応募数

◎各種啓発シールの作成 戸別収集時に「次の理由で収集できません」など

16,000枚 485,520円

◎のぼり旗懸垂幕の作成 「リサイクル日本一」「ごみ減量50%」「マイバック持参」等

「めざせリサイクル日本一」懸垂幕1枚38,850円。のぼり旗40枚36,960円

◎ローラー作戦（自治会などの団体に出張説明会）の実施

開催回数51回（一般49回、学生2回） 参加人数1,201人 21年度580回 19,548人

◎バス見学会の実施 リサイクルプラザ、多摩川衛生組合、民間施設等のごみ施設の見学。

参加団体数 22団体 参加人数 473人 見学場所29件 リサプラ18件、多摩川3件、ニツ塚2件、他6件

◎ごみ資源の出し方カレンダー16種類、ごみ資源分別辞書の作成と配布

事業費3,122,546円

ポスター入賞者記念品図書カード

印刷・全戸配布 事業系 東京メディア(株) 509,999円 5,000枚

印刷・全戸配布 家庭用 (株)Aスタイル 1,172,527円 126,897部

印刷・全戸配布 チラシ (株)小平広告 1,440,020円 150,000部

最優秀 1名 3,000円

優秀 5名 2,000円

優良 10名 1,000円

◎ごみ新聞『府中のごみ』の作成と配布 年2回

年2回 事業費2,321,195円

印刷・全戸配布 (株)小平広告 1,217,200円 120,000部 内配布118,587部

印刷・全戸配布 (株)Aスタイル 1,103,995円 120,000部 内配布119,120部

◎不法投棄防止パトロール業務委託（緊急雇用対策事業）

不法投棄件数1,492に件 事業費 9,887,042円 9,363時間 (株)トライ

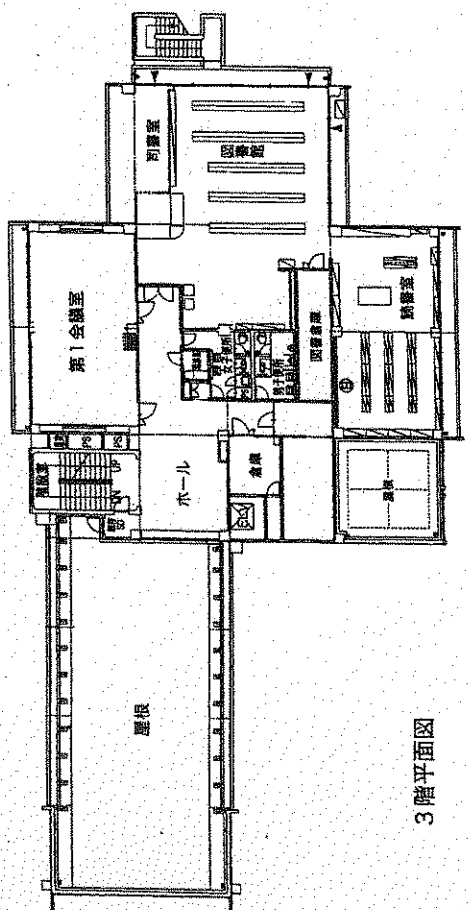
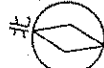
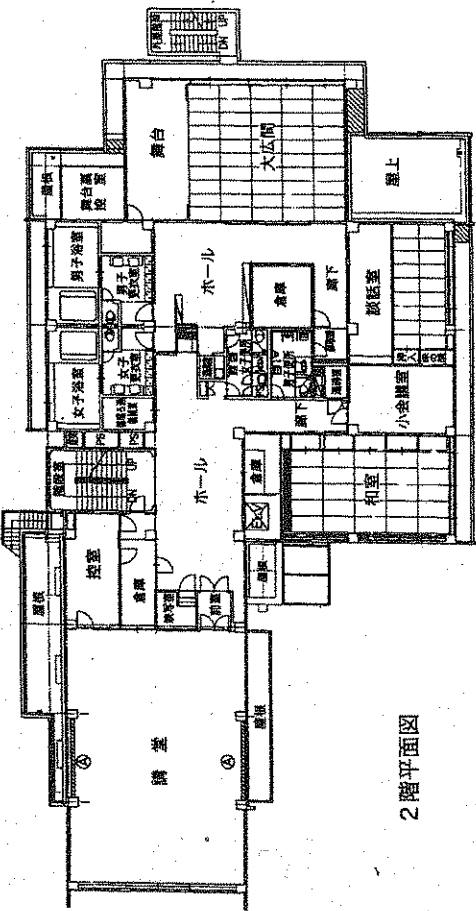
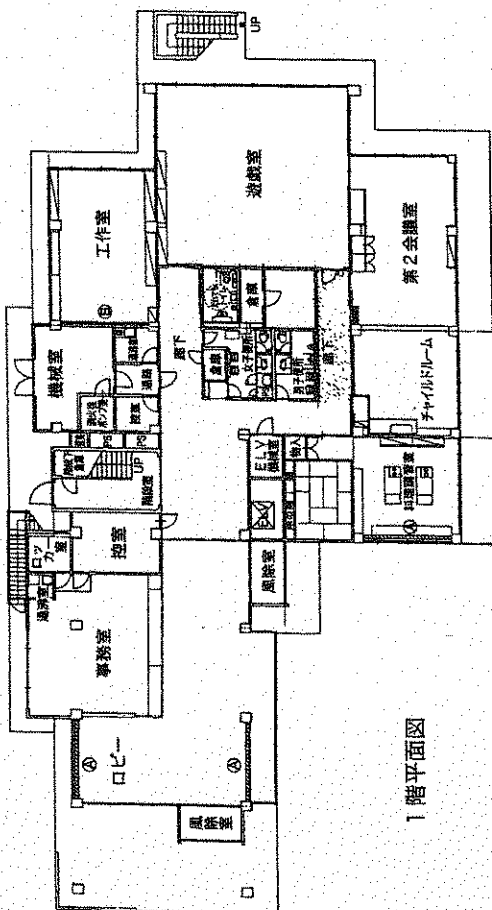
事業シート（概要説明書）

事務事業名	文化センター維持管理事業	事業開始年度	昭和46年度
上位施策事業名	コミュニティ施設の充実	担当部名	市民生活部
根拠法令	文化センター管理規則	担当課・係名	市民活動支援課地域コミュニティ係
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	中川 健介
事業概要	事業の必要性・実施の背景	<p>文化センターは、市長期総合計画に基づき、「だれもが、健康で住みたくなる都市づくり」の基幹施設として、また、地域の文化・コミュニティ活動のメッカとなることをめざして、公民館、児童館、高齢者福祉館、図書館を併設した複合施設である。</p> <p>昭和46年に白糸台文化センター開設後、市民からの建設要望が相次ぎ、昭和62年までに計11館を建設した。また、市民サービスの向上を図るため、戸籍や住民票等の各種証明書の発行など市役所の出張所的機能を持ち合わせた施設となっている。</p> <p>また、各文化センター圏域でコミュニティ協議会を立ち上げ、地域の特性を活かした事業や文化事業等を展開しており、これらの活動は文化センターを拠点としているため、市民にとってなくてはならない公共施設である。</p>	
	目的 (何をどうするために)	多くの市民が利用し、地域コミュニティ活動の中心となる文化センターが、安全で快適な施設であるとともに、市民サービスを充実していくことを目的とする。	
	目標 (何がどうなれば達成か)	それぞれの目的で来館される市民に、施設利用に関して満足していただけることが最大の市民サービスであり、文化センターを中心に文化・芸術・スポーツなど様々な分野において知識の高揚、趣味や生きがいを見つけることができれば、施設を運営する立場としては喜ばしいことである。そのためには、安心して施設を利用していただけるよう、維持管理に伴う委託を有効的に行いながら施設の開館運営に努める必要がある。	
	対象 (誰・何を対象に)	市内文化センター11館	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	
		<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者:)	
<input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕 (補助先: 実施主体:)			
<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()			
事業内容 (手段、手法など)	<p>文化センターは、公民館・児童館・高齢者福祉館・地区図書館（中央文化センターを除く）からなる複合施設として、さまざまな目的で多くの市民が来館する施設である。</p> <p>また、地域コミュニティの拠点として、文化・防災・スポーツなど多岐にわたる事業を展開している。</p> <p>これらの機能の維持及び市民サービスを充実していくために、年間を通じて11施設の清掃、設備・機器の保守管理、備品・施設の小修理を行っている。(施設管理費 356,464,000円)</p> <p>委託内訳については、別紙「平成22年度 予算執行状況一覧（文化センター費委託料）」のとおり。</p>		
※当該事業以下に細事業がある場合は、事業費とともに記載			
関連事業 (同一目的事業等)			

事業シート (概要説明書)

事務事業名		文化センター維持管理事業				事業開始年度		昭和46年度		
コスト	事業費	23年度 (予算)		22年度 (決算)		21年度 (決算)		20年度 (決算)		
		使用料	10,202 千円	7,233 千円	7,135 千円	7,233 千円				
		委託料	208,165 千円	210,756 千円	207,810 千円	204,453 千円				
		需用費	90,529 千円	98,380 千円	96,675 千円	104,748 千円				
		役務費	1,813 千円	1,393 千円	1,586 千円	1,795 千円				
		工事請負費・設計等	267,110 千円	42,040 千円	211,278 千円	196,696 千円				
		備品購入費等	5,260 千円	4,917 千円	6,515 千円	7,316 千円				
	事業費合計	583,079 千円	364,719 千円	530,999 千円	522,241 千円					
	人件費	担当正職員	3.81 人	31,888 千円	3.86 人	33,785 千円	4.04 人	37,772 千円	4.03 人	36,085 千円
		嘱託員	人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
臨時職員		人	千円	人	千円	人	千円	人	千円	
人件費合計		3.86 人	33,785 千円	3.86 人	33,785 千円	4.04 人	37,772 千円	4.03 人	36,085 千円	
総事業費		616,864 千円		398,504 千円		568,771 千円		558,326 千円		
財源内訳	国都支出金	10,075 千円		7,500 千円		1,556 千円		千円		
	地方債	220,500 千円		千円		34,800 千円		16,225 千円		
	使用料	13,834 千円		15,551 千円		16,592 千円		16,225 千円		
	基金	118,000 千円		100 千円		115,000 千円		115,000 千円		
	諸収入	3,520 千円		3,750 千円		56,356 千円		6,441 千円		
	一般財源	250,935 千円		371,603 千円		344,467 千円		404,435 千円		
	財源合計	616,864 千円		398,504 千円		568,771 千円		558,326 千円		
事業実績	活動実績	【活動指標名】			単位	H22年度	H21年度	H20年度		
		文化センター施設管理費			円	356,464,000	357,493,000	361,630,000		
		文化センター利用者数の確保			人	1,385,749	1,426,557	1,453,177		
	効率指標 (事業費/活動指標)	総事業費	文化センター利用者数	円	257	251	249			
事業成果	成果実績 (事業目標達成状況)	【成果指標名】			単位	H22年度	H21年度	H20年度		
		文化センター利用者数の達成目標			人	2,999,952	2,965,212	2,940,384		
		文化センター利用者数実績			人	1,385,749	1,426,557	1,453,177		
		達成度			%	46.2	48.1	49.4		
		【備考】全市民が月に一回利用をすることを目標にし、当該年度の4月1日現在の人口に12ヶ月を乗じた数を達成目標値とする。22年：249,996人 21年：247,101人 20年：245,032人								
事業の自己評価	課題等	将来的に施設の民間委託や、指定管理者制度の導入等方向性を決定するための検討を進めている。設備に関しては、節電・省エネルギーに配慮した効果的な運営を行わなければならない。								
	今後の方向性	現段階では、現状の事業を推進していくことになるが、民間委託や指定管理者制度の導入に向けた検討をつめていかなければならない。施設の改修、設備や備品等の適切な整備は今後も計画的に行っていく必要がある。								
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)										
特記事項 (事業の沿革等)										

府中市立紅葉丘文化センター各階案内図



平成22年度 文化センター—委託内訳

(単位 円)

施	細節名	件名	契約金	
設	施設管理委託料	中央総合清掃冷暖房給排水業務委託	23,100,000	
	施設管理委託料	白糸台総合清掃冷暖房給排水業務委託	13,954,500	
	施設管理委託料	西府総合清掃冷暖房給排水業務委託	11,445,000	
	施設管理委託料	武蔵台総合清掃冷暖房給排水業務委託	11,025,000	
	施設管理委託料	新町総合清掃冷暖房給排水業務委託	15,498,000	
	施設管理委託料	住吉総合清掃冷暖房給排水業務委託	11,550,000	
	施設管理委託料	是政総合清掃冷暖房給排水業務委託	12,967,500	
	施設管理委託料	紅葉丘総合清掃冷暖房給排水業務委託	13,198,500	
	施設管理委託料	押立総合清掃冷暖房給排水業務委託	6,510,000	
	施設管理委託料	四谷総合清掃冷暖房給排水業務委託	10,132,500	
	施設管理委託料	片町総合清掃冷暖房給排水業務委託	8,526,000	
	施設管理委託料	機械化警備業務委託(その1)	4,032,000	
	施設管理委託料	機械化警備業務委託(その2)	301,140	
	施設管理委託料	管理業務委託	46,435,101	
	施設管理委託料	樹木刈込委託	3,268,650	
	施設管理委託料	樹木病害虫防除業務委託	0	
	管	施設管理委託料	はち類駆除作業委託	33,075
施設管理委託料		特殊建築物定期報告委託	1,470,000	
施設管理委託料		浴槽レジオネラ菌検査委託	60,270	
施設管理委託料		ひばり舞台付属設備管理業務委託	4,410,000	
施設管理委託料		地下タンク気密漏洩検査委託	210,000	
		小計	198,127,236	
理		施設保守委託料	自家用電気工作物保守委託	1,604,400
		施設保守委託料	給湯及び空調ソーラー設備保守委託	3,528,000
		施設保守委託料	消防用設備保守委託	619,500
		施設保守委託料	中部地区エレベーター保守委託	1,319,220
	施設保守委託料	東部地区エレベーター保守委託	1,670,760	
	施設保守委託料	西部地区エレベーター保守委託	1,758,960	
	施設保守委託料	ひばりホール音響装置保守委託	113,400	
	施設保守委託料	ひばりホール吊物装置保守委託	63,000	
	施設保守委託料	ひばりホール調光装置保守委託	99,750	
	施設保守委託料	学校110番保守委託	329,175	
	施設保守委託料	風呂循環濾過装置保守委託	831,600	
		小計	11,937,765	
	費		合計	210,065,001

諸	細節名	件名	契約金
経	事務作業等委託料	OA廃棄紙等再生事業搬送業務処理委託	23,956
	事務作業等委託料	廃棄備品処理委託	85,489
	事務作業等委託料	不燃ごみ回収委託	580,698
費		小計	690,143
		合計	690,143

施設管理費 合計			210,755,144
----------	--	--	-------------

事業シート（概要説明書）

事務事業名	桜まつり運営事業	事業開始年度	昭和47年度
上位施策事業名	観光資源の活用・創出による地域活性化	担当部名	市民生活部
根拠法令		担当課・係名	市民活動支援課地域コミュニティ係
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	中川 健介
事業概要	事業の必要性・実施の背景	<p>本事業は、昭和47年から継続実施していることから認知度も高く、事業内容も子どもから大人まで楽しむことのできる伝統的なイベントである。企画内容や運営方法などについては市民とともに検討し、市民協働の形態を以前から導入している。また、会場が広いことから、福祉・防災・スポーツ等市内で活動している多くの諸団体が活動紹介を行い市民活動への参加の呼びかけを行えるため、本事業は、多くの情報提供及び収集、市民のコミュニケーションの活性化を図ることができる重要なイベントである。</p>	
	目的 (何をどうするために)	<p>府中市の魅力を広く市内外に情報発信し、観光客が訪れたいくなるような賑わいと魅力あふれるまちづくりを推進し、地域の活性化を図ることを目的としている。</p>	
	目標 (何がどうなれば達成か)	<p>府中市の桜の名所である府中公園や市道桜通りを開放し、桜まつりを実施することで、市民が自然に親しみ自然を愛し、誰もが楽しめて心のふれあう場を提供する。 桜まつりは市内全域のコミュニティ協議会が参加するため、親睦や連携を図る機会となり、地域コミュニティの活性化につながることを期待できる。また、これらの団体と市が、それぞれの役割分担を明確にしたうえで相互協力できる市民協働の体制づくりを強化する。</p>	
	対象 (誰・何を対象に)	<p>全市民及び市外の観光客</p>	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	
		<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者：府中市民桜まつり実行委員会)	
		<input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕 (補助先： _____ 実施主体： _____)	
		<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先： _____) <input type="checkbox"/> その他 (_____)	
事業内容 (手段、手法など)	<p>各文化センター圏域のコミュニティ協議会から選出されている桜まつり実行委員会に委託し、桜通り、府中公園通り、府中公園他において桜まつりを実施。 提灯・ぼんぼりを設置し、夜間は点灯。主要行事日は歩行者天国とし、パレードを実施。府中公園・寿中央公園において各種模擬店や出店、多数ショーを実施。 【委託先】 府中市民桜まつり実行委員会 【実施期間】 平成22年3月23日(火)～4月4日(日) ※主要行事実施は、4月3日(土)、4月4日(日) 【実行委員会と職員の役割分担】 実行委員会は、主にイベントの企画、立案に関することやイベントの進行・管理に携わり、当日の会場の安全確保や交通整理などは府中市と協働で実施している。 市は、主にイベント実施までの各種関係機関との調整、事務手続き、イベント当日の会場の安全確保、交通整理などを行っている。 【当日(主要行事実施日)の人的配置】 実行委員 20名 協力者 116名 職員 60名 計 196名 【協力機関】 府中警察署・府中消防署・多摩府中保健所・日本郵便武蔵府中支店 【協力団体】 各文化センター圏域コミュニティ協議会(11団体)・府中市観光協会・むさし府中商工会議所・府中交通安全協会・府中駅北口商店街・京王バス中央府中営業所・府中スカウト育成連絡協議会・劇団ほおずき・東京農工大学学園祭実行委員会・明星大学初等教育研究会(どろんこの会)</p>		
※当該事業以下に細事業がある場合は、事業費とともに記載			
関連事業 (同一目的事業等)	<p>けやきフェスタよさこい祭り・商工まつり・くらやみまつり</p>		

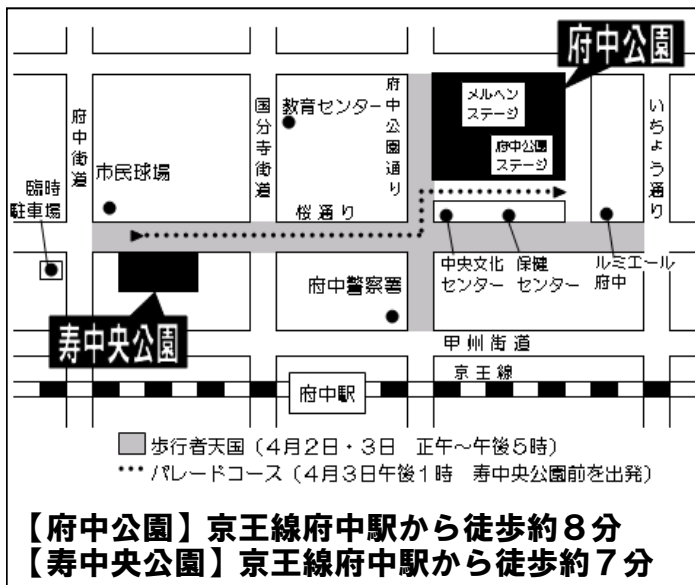
事業シート (概要説明書)

事務事業名		桜まつり運営事業				事業開始年度		昭和47年度		
コスト	事業費	23年度 (予算)		22年度 (決算)		21年度 (決算)		20年度 (決算)		
		報酬	千円		千円		千円		千円	
		委託料	7,995 千円		6,849 千円		6,500 千円		6,500 千円	
		需用費	千円		千円		千円		千円	
		役務費	千円		千円		千円		千円	
		その他	千円		千円		千円		千円	
	事業費合計	7,995 千円		6,849 千円		6,500 千円		6,500 千円		
	人件費	担当正職員	1.07 人	8,955 千円	1.03 人	9,033 千円	1.1 人	10,284 千円	1.1 人	9,849 千円
		嘱託員	人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
人件費合計		1.07 人	8,955 千円	1.03 人	9,033 千円	1.1 人	10,284 千円	1.1 人	9,849 千円	
総事業費		16,950 千円		15,882 千円		16,784 千円		16,349 千円		
財源 内訳	国都支出金	千円		千円		千円		千円		
	桜まつり参加費等収入	140 千円		155 千円		139 千円		137 千円		
	一般財源	16,810 千円		15,727 千円		16,645 千円		16,212 千円		
	財源合計	16,950 千円		15,882 千円		16,784 千円		16,349 千円		
事業実績	活動実績	【活動指標名】			単位	H22年度	H21年度	H20年度		
		参加者数			人	230,000	250,000	240,500		
	効率指標 (事業費/活動指標)	総事業費	/	参加者数	円	69	67	68		
事業成果	成果実績 (事業目標達成状況)	【成果指標名】			単位	H22年度	H21年度	H20年度		
		第5次総合計画で定めた目標参加者数に対する達成率			%	92	100	96		
		【備考】 目標参加者数は250,000人								
	課題等	桜まつりは、地域コミュニティの活性化、観光という二面性があるが、より多くの観光客が訪れたいようなまちづくりを推進するには、さらに多くの地域住民が主体となってイベントを盛り上げていくことが望まれる。また、事業内容が毎年似通っており新しい企画や発想が求められる。また、毎年、桜の開花時期が天候により異なるため開催日が決定しにくい。								
今後の方向性	府中を代表するイベントとして、今後も事業計画の見直しを行いながら、市民との協働、地域のコミュニケーションが活発になるよう、また、多くの人に安心して桜見物ができる場所とふれあいの場を提供していく。									
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	〔桜まつりの運営方式〕 実行委員会形式・・・武蔵野市、小金井市、福生市、町田市、調布市など 各商店街が中心・・・多摩市									
特記事項 (事業の沿革等)										

第40回 府中市民桜まつり催し物日程表

催し物	4月2日(土)	4月3日(日)	会場
ジャンボスライダー * フワフワドーム * 自由遊びコーナー * 模擬店コーナー 展示PRコーナー 植木・花鉢などの販売	午前11時～ 午後5時	午前11時～ 午後5時	府中公園 安全確保のため*は 午後零時30分～1時30分と 午後3時～3時30分は 休憩となります
セレモニー	—————	午前11時40分	メルヘンステージ
キャラクターショー 「 <small>カイソクセンタイ</small> 海賊戦隊ゴーカイジャー」	—————	①正午 ②午後3時30分	
演芸大会 主に民踊・舞踊・殺陣など	午前11時～ 午後5時	午前11時～ 午後5時	
演芸大会 主にカラオケ・ダンス・琴など	午前11時～ 午後5時	午前11時～ 午後5時	府中公園ステージ
武蔵国府太鼓	正午ごろ	—————	
移動天文観測車 ペガサスII	午前11時～ 午後3時	—————	中央文化センター 駐車場
シートベルト体験車	午前11時～ 午後3時	—————	
ミニSL *	午前11時～ 午後5時	午前11時～ 午後5時	寿中央公園 安全確保のため*は 午後零時30分～1時30分と 午後3時～3時30分は 休憩となります
桜まつりパレード	—————	午後1時	桜通り

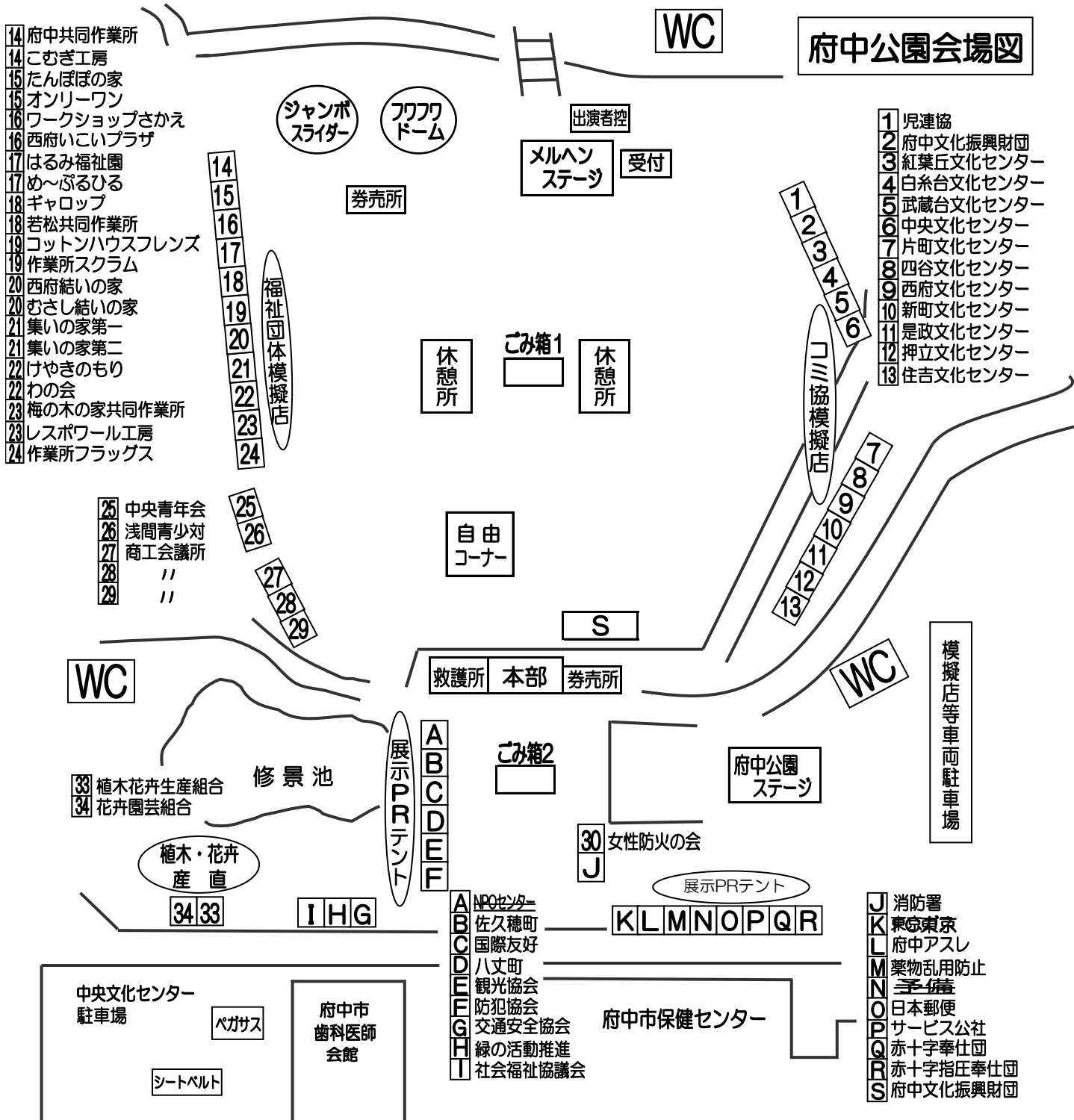
※ジャンボスライダー・フワフワドーム・ミニSLは1回20円です。
 ※府中公園・寿中央公園には模擬店が出店します。
 ※天候等によって催し物の内容、時間に変更又は中止になる場合があります。



バス路線を一部変更 (歩行者天国時間中)
 ☆臨時休止する停留所☆
ちゅうバス・中央文化センター、ルミエール府中、幸町2丁目
京王電鉄バス・寿町1丁目、府中町1丁目、ルミ

桜色のトンネルが府中の町を包みます。小春日和にのんびり府中散歩はいかがでしょう。メイン会場の府中公園をはじめ寿中央公園、中央文化センター駐車場でも様々な催し物をご用意してお待ちしております。

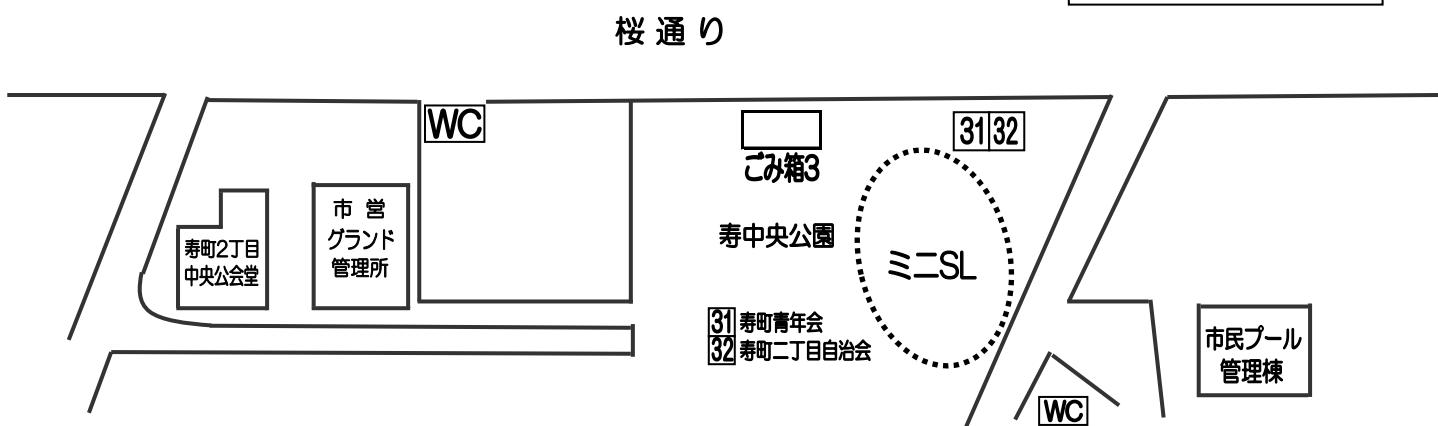




市民球場

桜通り

寿中央公園会場図



- 14 府中共同作業所
- 14 こむぎ工房
- 15 たんぼの家
- 15 オンリーワン
- 16 ワークショップさかえ
- 16 西府いこいプラザ
- 17 はるみ福祉園
- 17 め〜びるひる
- 18 ギャロップ
- 18 若松共同作業所
- 19 コットンハウスフレンズ
- 19 作業所スクラム
- 20 西府結いの家
- 20 むさし結いの家
- 21 集いの家第一
- 21 集いの家第二
- 22 けやきのもり
- 22 わの会
- 23 梅の木の家共同作業所
- 23 レスポワール工房
- 24 作業所フラッグス

- 1 児連協
- 2 府中文化振興財団
- 3 紅葉丘文化センター
- 4 白糸台文化センター
- 5 武蔵台文化センター
- 6 中央文化センター
- 7 片町文化センター
- 8 四谷文化センター
- 9 西府文化センター
- 10 新町文化センター
- 11 是政文化センター
- 12 押立文化センター
- 13 住吉文化センター

- 25 中央青年会
- 26 浅間青少対
- 27 商工会議所
- 28 //
- 29 //

- 25
- 26
- 27
- 28
- 29

WC

WC

WC

WC

修景池

- 33 植木花卉生産組合
- 34 花卉園芸組合

植木・花卉
産直

34 33

I H G

展示PRテント

A B C D E F

- A NPOセンター
- B 佐久穂町
- C 国際友好
- D 八丈町
- E 観光協会
- F 防犯協会
- G 交通安全協会
- H 緑の活動推進
- I 社会福祉協議会

30 女性防火の会

J

展示PRテント

K L M N O P Q R

中央文化センター
駐車場

ペガサス

シートベルト

府中市
歯科医師
会館

府中市保健センター

- J 消防署
- K 東京
- L 府中アスレ
- M 薬物乱用防止
- N 予備
- O 日本郵便
- P サービス公社
- Q 赤十字奉仕団
- R 赤十字指圧奉仕団
- S 府中文化振興財団

市民プール管理棟

市民球場

31 32

寿中央公園

- 31 寿町青年会
- 32 寿町二丁目自治会

三二SL

WC

市民プール
管理棟

事業シート（概要説明書）

事務事業名	小規模事業者指導事業	事業開始年度	昭和45年度
上位施策事業名	中小企業の経営基盤強化の支援	担当部名	市民生活部
根拠法令	府中市小規模事業者等指導事務要綱	担当課・係名	経済観光課商工係
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	柏木茂永
事業の必要性・実施の背景	時代とともに生じる、経営を取り巻く状況の変化に、事業者が対応できるよう相談・指導の必要性があるため		
目的 (何をどうするために)	小規模事業者等の経営又は技術の改善に必要な知識の指導を行い、企業経営の充実を図るとともに、中小企業の振興と安定に寄与する		
目標 (何がどうなれば達成か)	時代と共に生じる多種多様な相談に対応し、事業者の経営の充実を図り、小規模事業者等の企業経営力を養うこと。また、その結果、事業者自らが考え、問題点を解決することができるようになること。		
対象 (誰・何を対象に)	小規模事業者及び、そのもので構成され、構成員相互の向上を目的とする団体 (小規模事業者5,062事業者 57.4%(平成22年度)、商店会(54商店会)等)		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者: むさし府中商工会議所)		
	<input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕(補助先: 実施主体:)		
<input type="checkbox"/> 貸付(貸付先:) <input type="checkbox"/> その他()			
事業内容 (手段、手法など) ※当該事業以下に細事業がある場合は、事業費とともに記載	<p>むさし府中商工会議所に委託し、経営指導員6人、業務支援人1人、記帳相談員1人を配置し、次のような指導・相談業務を行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 経営改善指導事務 <ul style="list-style-type: none"> ・税務及び経理に関する指導・相談 ・融資制度及びあっ旋申込みに関する指導・相談 ・技術の改善、工業所有権、商取引等に関する指導・相談 ・経営・技術に関する情報の提供並びに活用方法に関する指導・相談 ・社会保険制度に関する指導・相談 ・中小企業関係法令等に関する指導・相談 ・その他経営に関する必要な指導・相談 経営高度化指導事務 <ul style="list-style-type: none"> ・業種転換、新規事業の開拓、事業の拡大等に関する指導・相談 ・経営方針及び事業計画の策定の指導・相談 ・技術革新、商品開発等に関する情報提供及び関係機関との連絡調整 ・事業所及び経営者間の交流の促進指導 ・その他経営の高度化に必要な指導・相談 団体育成指導事務 <ul style="list-style-type: none"> ・商店会への活性化に関する指導・相談 ・業種団体への活性化に関する指導・相談 ・経営改善、技術交流を目的とする団体の組織化及び運営に関する指導・相談 ・商店会等の各種補助金申込に関する指導・相談 ・その他団体の育成に必要な指導・相談 1から3までの事務を円滑かつ適正に実施するための景況等の調査、情報の収集及び資料の整備 		
関連事業 (同一目的事業等)	商工業振興事業補助金(補助先: むさし府中商工会議所)		

事業シート (概要説明書)

事務事業名		小規模事業者指導事業				事業開始年度		昭和45年度		
コスト	事業費	23年度 (予算)		22年度 (決算)		21年度 (決算)		20年度 (決算)		
		報酬	千円		千円		千円		千円	
		委託料	26,469千円		26,469千円		26,469千円		26,469千円	
		需用費	千円		千円		千円		千円	
		役務費	千円		千円		千円		千円	
		その他	千円		千円		千円		千円	
	事業費合計	26,469千円		26,469千円		26,469千円		26,469千円		
	人件費	担当正職員	0.07人	586千円	0.07人	611千円	0.06人	560千円	0.1人	895千円
		嘱託員	人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
人件費合計		0.07人	586千円	0.07人	611千円	0.06人	560千円	0.1人	895千円	
総事業費		27,055千円		27,080千円		27,029千円		27,364千円		
財源 内訳	国都支出金	千円		千円		千円		千円		
	地方債	千円		千円		千円		千円		
	その他特財	千円		千円		千円		千円		
	一般財源	27,055千円		27,080千円		27,029千円		27,364千円		
	財源合計	27,055千円		27,080千円		27,029千円		27,364千円		
事業実績	活動実績	【活動指標名】			単位	H22年度	H21年度	H20年度		
		経営改善普及指導・相談件数			件	1848	2386	2622		
		講習会指導・相談回数			回	62	79	82		
		記帳指導・相談回数			回	244	253	243		
	効率指標 (事業費/活動指標)	総事業費	／	経営改善普及指導・ 相談件数	千円	14	11	10		
事業成果	成果実績 (事業目標達成状況)	【成果指標名】			単位	H22年度	H21年度	H20年度		
		売上状況DI				-28.3	-62.2	-34.8		
		経営上の問題点調査で 特に問題なしと答えた回答率			%	6.6	5.0	1.9		
	【備考】									
事業の自己評価	課題等	時代とともに生じる経営を取り巻く状況の変化が、多種多様になってきており、1件の相談にかかる時間が増加し、対応できる件数が制限されてしまっている。								
	今後の方向性	小規模事業者の経営に対し、商工会議所と連携し、専門家による各種の相談・指導等を継続して実施していく								
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)		経営指導員等による相談実績 (平成22年度) 町田市 2,107件/立川市 1,426件/多摩市 1,829件/八王子市 2,519件/青梅市 1,447件 /武蔵野市 1,313件 補助事業費 (平成23年度予算額) 町田市 1,300,000円/立川市 13,645,000円/多摩市 10,000,000円/八王子市 11,578,000円 /青梅市 19,276,000円								
特記事項 (事業の沿革等)										

事業シート (概要説明書)

事務事業名	補助金 農業生産団体育成事業費	事業開始年度	平成2年度
上位施策事業名	府中産農産物の流通拡大	担当部名	市民生活部
根拠法令	府中市農業生産団体育成事業実施要領	担当課・係名	経済観光課農政係
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	八木 幹夫
事業概要	事業の必要性・実施の背景	農地の保全と農業経営の安定を図る観点から、各農業団体への継続的な経営支援が必要である。	
	目的 (何をどうするために)	市内農業者により組織化されている農業生産団体が行う生産資材、出荷資材等の共同購入等に伴う経費に対し補助を行い、もって農業振興事業の推進と農業経営の安定を図る。	
	目標 (何がどうなれば達成か)	農業生産団体が行う共同購入等について補助を行い、農業経営の安定を図ることによって、農地保全と農業振興を推進する。	
	対象 (誰・何を対象に)	農業生産団体(市内農業者により、農業経営の改善及び生産出荷の目的をもって組織されている10名以上の組合員数を有する団体) 8団体	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者:) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金〔 <u>直接</u> 間接〕 (補助先: 農業生産団体 8団体 実施主体: : 農業生産団体) 1 府中市農事研究会連合会 2 府中市果実生産出荷組合 3 府中市椎茸生産出荷組合 4 府中市植木花卉生産組合 5 府中市花卉園芸組合 6 府中市是政出荷組合 7 府中市押立営農組合 8 府中市いちご組合 <input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()	
事業内容 (手段、手法など) ※当該事業以下に細事業がある場合は、事業費とともに記載	<input type="checkbox"/> 補助対象事業 1 生産資材(肥料及び農薬を除く。)の共同購入費 2 種苗類の共同購入 3 出荷容器(ダンボール及び木箱)の共同購入 4 出荷資材(パック、ネットロン袋、結束テープ等)の共同購入 5 家畜伝染病予防に伴う検査及び注射の経費並びにワクチンの共同購入費 <input type="checkbox"/> 対象期間 毎年の4月1日から翌年3月31日まで <input type="checkbox"/> 補助金の額 補助金の額は、予算の範囲以内で、次のとおりとする。 1 生産資材、種苗類、出荷容器資材等の共同購入に対する補助額は事業費の2分の1又は当該団体に属する組合員数(会員数)の1人当たり7万円を限度として算出した額のいずれか低い額。 2 家畜伝染病予防に対する補助額は、事業費の額とする。 <input type="checkbox"/> 補助金の交付 補助金等交付申請、実績報告に基づき、補助金を交付する。		
関連事業 (同一目的事業等)	<input type="checkbox"/> 補助金 生産緑地地区指定農地等振興事業費 ・対象…農産物を生産、販売している市内の農業者 <input type="checkbox"/> 補助金 農産物地産地消推進事業 ・対象…市内の農業者で、市内で農産物を生産し、直売所や体験農園等を開設している者。または、共同直売所に農産物を出荷している者。 <input type="checkbox"/> 補助金 認定農業者等経営改善対策事業費 ・対象…年間の農業従事日数が180日以上のもので、次の①～④いずれかに該当する者。①認定農業者②東京都認定エコファーマー③特別栽培農産物生産者④府中市農業後継者連絡会議に加入してる農業者		

事業シート (概要説明書)

事務事業名		補助金 農業生産団体育成事業費				事業開始年度		平成2年度		
		23年度 (予算)		22年度 (決算)		21年度 (決算)		20年度 (決算)		
コスト	事業費	報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		補助金	8,279 千円	8,808 千円	8,988 千円	9,172 千円				
		事業費合計	8,279 千円	8,808 千円	8,988 千円	9,172 千円				
	人件費	担当正職員	0.35 人	2,929 千円	0.35 人	3,059 千円	0.35 人	3,272 千円	0.2 人	1,790 千円
		嘱託員	人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.35 人	2,929 千円	0.35 人	3,059 千円	0.35 人	3,272 千円	0.2 人	1,790 千円
総事業費		11,208 千円		11,867 千円		12,260 千円		10,962 千円		
財源 内訳	国都支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	その他特財	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	一般財源	11,208 千円	11,867 千円	12,260 千円	10,962 千円					
	財源合計	11,208 千円	11,867 千円	12,260 千円	10,962 千円					
事業実績	活動実績	【活動指標名】			単位	H22年度	H21年度	H20年度		
		補助金 農業生産団体育成事業費	千円	千円	千円	8	8	8		
	効率指標 (事業費/活動指標)	総事業費	費用/団体	千円	1,483	1,533	1,370			
事業成果	成果実績 (事業目標達成状況)	【成果指標名】			単位	H22年度	H21年度	H20年度		
		補助金 農業生産団体育成事業費 (決算/団体)	千円	千円	千円	1,101	1,123	1,146		
		農地面積 (各年度 1 月 1 日現在)	m ²	m ²	m ²	1,551.997	1,564.035	1,576.588		
		事業費合計	決算/団体							
事業の自己評価	課題等	農地の減少等により、団体活動が厳しさを増している。								
	今後の方向性	市場出荷が減り、直売所主体の経営を行う農業者が増えてきている。生産よりも出荷体系に応じた活動が中心になりつつある。 今後も市からの継続的な支援が必要であるため、現在の方法により補助を継続する。								
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)		○立川市 平成23年度より補助事業開始 対象…3団体								
特記事項 (事業の沿革等)		農産物の生産資材、出荷資材の共同購入や効率的な農業経営を支援することによって、市民に地元で採れた新鮮で安全な農産物の提供が拡大し、需要も増大しつつある。共同直売所のほか、スーパー・ストアなどの中にも直売コーナーなどが設置されつつあり、販売実績も好調である。また、学校給食等での地元農産物の使用は、食育推進の面から効果的であり、地産地消を推進するうえからも、更なる出荷拡大が期待されている。								

事業シート（概要説明書）

事務事業名	育児支援家庭訪問事業	事業開始年度	平成18年度
上位施策事業名	子育て家庭の育児不安の解消	担当部名	子ども家庭部
根拠法令	児童福祉法、東京都子ども家庭支援センター事業実施要綱、府中市育児支援家庭訪問事業運営要綱	担当課・係名	子育て支援課子ども家庭支援センター
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	関根 昌一
事業概要	事業の必要性・実施の背景	<p>必要性：身近に育児の相談をする人がいない、仲間がいないなど、地域から孤立した育児は、子育てをする環境には好ましい状況ではない。育児不安や負担を抱えたままの養育は児童虐待につながる可能性もあり、そういった家庭を早期に発見し支援していく必要がある。</p> <p>背景：市では本事業を平成18年6月に開始し、地域や関係機関と連携した児童虐待の発生予防対策として実施している。一方、児童福祉法は、平成20年に一部が改正され、乳児全戸訪問事業とともに養育支援訪問事業（育児支援家庭訪問事業）が規定された。また、本事業は東京都子供家庭支援センター事業実施要綱で、先駆型子ども家庭支援センターの必須事業として位置づけられている。核家族化が進み地域とのつながりが希薄化する中、平成20年度実施した市民意向調査では、子育てに自信を持ってなくなるということがあった保護者が6割を超えている状況がある。</p>	
	目的 (何をどうするために)	保護者が子どもの養育を適切に行うことができるよう、養育に関する専門知識を持つ訪問員や家事支援のヘルパーを定期的に派遣し、育児支援を行うとともに児童虐待の発生を予防する。	
	目標 (何がどうなれば達成か)	保護者が子どもの養育を適切に行うことができる知識の習得や生活環境の改善、安定した気持ちで子どもと関わるができるようになる状態。	
	対象 (誰・何を対象に)	18歳未満の子どものいる家庭23,000世帯(17年の国勢調査統計による)のうち、定期的な訪問等の支援が必要な家庭約300~350世帯	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 職員及び育児支援家庭訪問員(保健師、看護師、助産師等の有資格者 21人)	
		<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先：NPO団体 2団体)	
<input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕 (補助先：) 実施主体：)			
<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先：) <input type="checkbox"/> その他 ()			
事業内容 (手段、手法など)	<p>相談等から、支援が必要であると思われる家庭に対し、当該家庭の同意を得て、関係機関で協議の上、支援方針を決定し、必要な訪問員（保健師、助産師、保育士、ヘルパー）を定期的に派遣する。支援内容は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 妊婦健診未受診、望まない妊娠など妊娠期からの相談・支援 ・ 未熟児、多胎児等に対する育児指導、栄養指導 ・ 身体的又は精神的に不調状態にある養育者に対する相談・支援 ・ 若年の養育者に対する相談・支援 ・ 児童の発達相談・障害に関する訓練支援 ・ 引きこもり、家庭復帰等の子どもがいる家庭に対する相談・支援 		
関連事業 (同一目的事業等)	<p>新生児訪問、妊産婦訪問、乳幼児訪問、産前産後家庭サポート事業、ひとり親家庭ホームヘルプサービス事業、子育てひろば事業</p>		

※当該事業以下に細事業がある場合は、事業費とともに記載

事業シート（概要説明書）

事務事業名		育児支援家庭訪問事業				事業開始年度		平成18年度			
		23年度（予算）		22年度（決算）		21年度（決算）		20年度（決算）			
コスト	事業費	報酬		6,763千円		5,146千円		5,621千円		6,498千円	
		委託料		1,560千円		931千円		1,031千円		1,175千円	
		需用費		30千円		23千円		10千円		28千円	
		役務費		60千円		48千円		63千円		44千円	
		その他		千円		千円		千円		千円	
		事業費合計		8,413千円		6,148千円		6,725千円		7,745千円	
	人件費	担当正職員		0.94人	7,867千円	0.97人	8,480千円	1.2人	11,219千円	1.24人	11,103千円
		嘱託員		0.35人	1,139千円	0.4人	1,343千円	0.2人	665千円	0.2人	696千円
		臨時職員		人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計		1.29人	9,006千円	1.37人	9,823千円	1.4人	11,884千円	1.44人	11,799千円
総事業費		17,419千円		15,971千円		18,609千円		19,544千円			
財源 内訳	国都支出金		4,960千円		2,825千円		5,433千円		3,872千円		
	地方債		千円		千円		千円		千円		
	その他特財		千円		千円		千円		千円		
	一般財源		12,459千円		13,146千円		13,176千円		15,672千円		
	財源合計		17,419千円		15,971千円		18,609千円		19,544千円		
事業実績	【活動指標名】			単位	H22年度	H21年度	H20年度				
	訪問員、NPOによる訪問世帯数			世帯	83	86	83				
	訪問員、NPOによるの訪問回数			回	923	989	1,201				
	職員の訪問世帯数			世帯	340	300	333				
	職員の訪問件数			件	2,388	2,555	3,532				
効率指標 (事業費/活動指標)		総事業費	職員・訪問員等の訪問世帯数	円	37,757	48,210	46,981				
事業成果	【成果指標名】			単位	H22年度	H21年度	H20年度				
	訪問員、NPOによる訪問世帯の終了した割合			%	47	33.7	47				
	(当該年度派遣終了世帯/訪問世帯(前年度からの継続含む))										
	【備考】職員の訪問や面接には回数に限りがあるため、職員に代わって訪問員等が定期的に訪問して保護者の精神的な安定や環境の改善を図ってる。職員の対応だけで、比較的安定した養育が可能になると訪問員の訪問は終了としている。 H22年度：終了世帯39世帯/訪問世帯83世帯 平成21年度：終了世帯29世帯/訪問世帯86世帯 平成20年度：終了世帯39世帯/訪問世帯83世帯										
事業の自己評価	課題等		<ul style="list-style-type: none"> ・短期間では成果の見えない事業であり、特に養育者の知的、精神問題での支援には関係機関との連携が必要である。 ・訪問員(保健師、看護師等)人材の確保及び養成 ・訪問員のストレスケア 								
	今後の方向性		母子健康手帳の発行の際に、特に支援が必要な家庭を出産前から早期に把握するとともに、乳児全戸訪問の実施結果や健診状況など、早い段階から適切な支援を行うことが子どもの健全な育成には大切であることから、その他の関係機関とも連携し、子どもが安全に安定した環境で生活できるようにするため実施していく。								
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)		26市で同様の事業を実施しているが、大半が家事援助はヘルパー派遣、専門的支援は職員が実施しているという状況である。府中市では専門的支援には保健師、看護師、助産師等を訪問員として登録し、職員だけではまかなえない多岐に亘る専門的支援が可能になっている。									
特記事項 (事業の沿革等)		平成18年6月に府中市育児支援家庭訪問事業を開始。児童福祉法では、平成20年に法の一部が改正され、「育児支援家庭訪問事業」が「養育支援訪問事業」として平成21年4月児童福祉法に位置付けられた。併せて社会福祉法の第2種社会福祉事業に規定され、先駆型子ども家庭支援センターの必須事業となっている。府中市では「育児支援家庭訪問事業」を「養育支援訪問事業」の一環として実施することとし、要綱の一部を改正した。									

府中市育児支援家庭訪問事業

1 事業開始 平成18年度6月

2 家庭訪問員

職種	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
保健師	6人	5	4	5	6
看護師	4	4	3	4	3
助産師	6	6	7	7	7
教員	2	3	3	3	3
保育士	1	3	5	4	4
社会福祉士等	1	1	2	2	2
家族心理士	—	—	—	1	1
計	20	22	24	26	26
NPO団体	2	2	2	2	2

3 支援種別

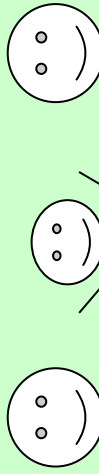
	養育困難	育児不安	不登校	子の障害	特定妊婦
20年度	65	15	3	—	—
21年度	67	14	3	2	—
22年度	65	13	1	3	1

4 訪問回数

職種	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
保健師	41回	109	120	142	126
看護師	72	95	206	223	179
助産師	18	75	147	90	67
教員	29	229	202	113	128
保育士	26	58	197	154	113
社会福祉士等	8	47	12	13	35
家族心理士	—	—	—	—	4
小計	194	613	884	735	652
NPO団体	26	231	317	254	271
合計	220	844	1201	989	923
世帯数	32	67	83	86	83

育児支援家庭訪問事業の展開（イメージ）

子育ての不安や悩みを解決したい！



支援

子育てに
悩む家庭

支援

育児支援家庭訪問事業

- ◇ 必要な家庭に訪問
- ◇ 経過は関係者で共有
- ◇ 親子の健やかな成長をサポート

在宅サービス
事業 など

子ども家庭
支援センター

連携

地域の関係機関

保健センター
児童相談所、保健所
保育園・幼稚園
小・中学校・教育センター
民生児童委員
市内 NPO
ほか、市の関係各課 など

各種事業

近隣の方々

発見

相談

相談

発見

相談

発見

事業シート（概要説明書）

事務事業名	子ども家庭サービス事業（トワイライトステイ事業）	事業開始年度	平成7年度
上位施策事業名	多様な保育サービスの展開	担当部名	子ども家庭部
根拠法令	児童福祉法 子供家庭支援センター事業実施要綱（東京都要綱） 府中市子ども家庭サービス事業実施要綱	担当課・係名	子育て支援課 子ども家庭支援センター
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	関根 昌一
事業概要	事業の必要性・実施の背景	【必要性】就労形態の多様化や就労ニーズに応え、子育てと就労の両立と安心して働ける環境を整えるために必要である。 【背景】子どもの養育環境が整っていないため、就労の継続や就労希望を断念する母親や、両親の深夜残業や就労形態の多様化によって子どもの養育ができない家庭がある。市民意向調査（平成20年度実施）では、フルタイムで働く小学生の保護者で、帰宅が19時以降と回答した父親は71.4%、母親は35.3%であった。	
	目的（何をどうするために）	共働きや残業などで保育所や学童が終了する時間に帰宅できない保護者に対して、夕方から保護者が帰宅するまでの間、施設で子どもの保育を行うことで、安心して子育てができる環境を作り、子育てと就労の両立支援を図る。	
	目標（何がどうなれば達成か）	子育て中の保護者が残業や就労形態にとらわれず、安心して就労と子育てを両立できる状態。	
	対象（誰・何を対象に）	残業や就労形態などで保育所や学童等が終了する時間に帰宅できない2歳～12歳までの子ども（12歳の児童にあっては小学校に在学している児童に限る。）。372人（H23.4.1現在の全府中市民人口251,037人に対する割合0.15%） （2～12歳までの子ども（25,632人）のうち、フルタイム共働き（21.8%）で、母親が19時以降の帰宅（38%）で、日ごろ子どもを預かってもらえる親族等がいない世帯（17.5%））	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理（委託先又は指定管理者：社会福祉法人多摩同胞会、社会福祉法人多摩養育園）	
		<input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕（補助先： 実施主体： ）	
		<input type="checkbox"/> 貸付（貸付先： ） <input type="checkbox"/> その他（ ）	
事業内容（手段、手法など）	【内容】府中市民で2歳から12歳の子どもを養育している家庭の保護者が、共働きや残業などで帰宅が遅い場合に、その保護者に代わって、子どもを学校や保育所まで迎えにいき、施設で保育や食事の提供を行う。各施設は子どもを午後5時から10時までで保護者が施設に子どもを迎えにくるまでの間預かる。 【実施施設と定員】 子ども家庭支援センター「しらとり」 1日40人 高倉保育所 1日25人 【利用料】 利用料 1日600円 ※生活保護受給世帯や、市民税非課税世帯には利用料を減免する。 送迎費 1日100円 食事代 1食300円 【時間】午後5時から午後10時まで		
関連事業（同一目的事業等）	延長保育（保育所での午後6時以降の保育サービス） ファミリーサポート（子育ての手助けをしたい会員が手助けしてほしい会員に有償で子育てのサポートを行う会員制の子育てサポート事業） 学童クラブ（小学校終了後小学3年生（心身に障害がある児童は4年生まで）を午後6時まで児童を預かるサービス） 放課後子ども教室事業（放課後から午後5時まで小学校を活用した遊びの場・学習の場）		

事業シート（概要説明書）

事務事業名		子ども家庭サービス事業（トワイライトステイ事業）				事業開始年度		平成7年度		
		23年度（予算）		22年度（決算）		21年度（決算）		20年度（決算）		
コスト	事業費	報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託料	35,900 千円	33,266 千円	30,127 千円	32,754 千円				
		需用費	千円	千円	千円	千円				
		役務費	千円	千円	千円	千円				
		その他	千円	千円	千円	千円				
		事業費合計	35,900 千円	33,266 千円	30,127 千円	32,754 千円				
	人件費	担当正職員	0.39 人	3,256 千円	0.40 人	3,499 千円	0.41 人	1,601 千円	0.42 人	1,490 千円
		嘱託員	人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.39 人	3,256 千円	0.40 人	3,499 千円	0.41 人	1,601 千円	0.42 人	1,490 千円
総事業費		39,156 千円	36,765 千円	31,729 千円	34,244 千円					
財源 内訳	国都支出金	9,048 千円	19,413 千円	6,039 千円	7,278 千円					
	地方債	千円	千円	千円	千円					
	その他特財	千円	千円	千円	千円					
	一般財源	30,108 千円	17,352 千円	25,690 千円	26,966 千円					
	財源合計	39,156 千円	36,765 千円	31,729 千円	34,244 千円					
事業実績	活動実績	【活動指標名】	単位	H22年度	H21年度	H20年度				
		トワイライトステイ延利用者	人	6,047	4,959	5,938				
		【内訳】しらとり延利用者	人	1,489	1,691	2,525				
		高倉保育所延利用者	人	4,558	3,268	3,403				
	効率指標 (事業費/活動指標)	総事業費 / 2施設の延利用人数の合計	円	6,080	6,398	5,767				
事業成果	成果実績 (事業目標達成状況)	【成果指標名】	単位	H22年度	H21年度	H20年度				
		トワイライトステイ利用者の平成26年度目標 に対する達成率	%	86.4	70.8	84.8				
		【備考】延利用人数/府中市次世代育成支援行動計画後期計画の子育てと仕事を両立しながら安心して利用できる保育サービス事業のひとつであるトワイライトステイ事業の平成26年度事業目標延7,000人								
事業の自己評価	課題等	2施設のうち、駅に近い高倉保育所にのみ利用希望者が集中していて、定員を超える状態であり、サービスを利用したいすべての人にサービスが提供できていない。（別紙資料あり）								
	今後の方向性	サービスの利用希望者全員が利用できるように、利用しやすい方法に改善する。								
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)		26市中6市で実施。								
特記事項 (事業の沿革等)		東京都が平成7年度に事業開始したと同時に府中市子ども家庭支援センター「しらとり」で事業開始。H18年9月までは月～金の実施。平成18年10月から実施施設に府中市立高倉保育所を加え、月～土の実施となる。								

事業シート (概要説明書)

事務事業名	市立保育所管理運営事業	事業開始年度	昭和37年度
上位施策事業名	多様な保育サービスの展開	担当部名	子ども家庭部
根拠法令	児童福祉法	担当課・係名	保育課
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	田中 肇
事業の必要性・実施の背景	<p>児童福祉法第24条 市町村は、保護者の労働又は疾病その他の政令で定める基準に従い条例で定める事由により、その監護すべき乳児、幼児又は第三十九条第二項に規定する児童の保育に欠けるところがある場合において、保護者から申込みがあつたときは、それらの児童を保育所において保育しなければならない。ただし、保育に対する需要の増大、児童の数の減少等やむを得ない事由があるときは、家庭的保育事業による保育を行うことその他の適切な保護をしなければならない。</p>		
目的 (何をどうするために)	<p>保育に欠ける児童を保育し、その健全な心身の発達を図る。</p>		
目標 (何がどうなれば達成か)	<p>(保育所保育指針) 保育所は、子どもが生涯にわたる人間形成にとって極めて重要な時期に、その生活時間の大半を過ごす場である。このため、保育所の保育は、子どもが現在を最も良く生き、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培うために、次の目標を目指して行わなければならない。 ○十分に養護の行き届いた環境の下に、くつろいだ雰囲気の中で子どもの様々な欲求を満たし、生命の保持及び情緒の安定を図ること。 ○健康、安全など生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培うこと。 ○人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感、そして人権を大切にすることを育るとともに、自主、自立及び協調の態度を養い、道徳性の芽生えを培うこと。 ○生命、自然及び社会の事象についての興味や関心を育て、それらに対する豊かな心情や思考力の芽生えを培うこと。 ○生活の中で、言葉への興味や関心を育て、話したり、聞いたり、相手の話を理解しようとするなど、言葉の豊かさを養うこと。 ○様々な体験を通して、豊かな感性や表現力を育み、創造性の芽生えを培うこと。 保育所は、入所する子どもの保護者に対し、その意向を受け止め、子どもと保護者の安定した関係に配慮し、保育所の特性や保育士等の専門性を生かして、その援助に当たらなければならない。</p>		
対象 (誰・何を対象に)	<p>保育に欠ける児童 認可定員1,602人</p>		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者:)		
	<input type="checkbox"/> 補助金 [直接・間接] (補助先: 実施主体:)		
	<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()		
事業内容 (手段、手法など) ※当該事業以下に細事業がある場合は、事業費とともに記載	<p>平成23年度 15施設 認可定員1,602人 予算額 2,760,599千円 基本職員配置 1施設につき、所長、主任、看護師、栄養士、作業員3人、保育士0歳児3人につき1人、1歳児5人につき1人、2歳児6人につき1人、3歳児20人につき1人、4・5歳児30人につき1人、長時間開所のための職員3人ほかパート職員、必要に応じ障害児担当 平均年齢 39.6歳 一日の流れ等は、「保育のしおり」のとおり 7時から18時までの通常保育のほか、19時または20時までの延長保育を行っている。 3歳児以上の障害児保育あり、全施設アレルギー対応可 22年度職員研修実績 延べ794人、研修参加者は保育所内で報告を行い情報共有をしている。 保護者負担(保育料)は、それぞれの所得税額に応じて決定する。国基準額の概ね5割を負担いただいている。</p>		
関連事業 (同一目的事業等)	<p>私立保育所運営支援事業 (H23 22施設 認可定員2,280人 予算額3,741,338千円) 高倉保育所管理運営事業 (H23 認可定員 143人 予算額 264,214千円) ※職員配置の基準は、市立保育所と同じ。</p>		

事業概要

事業シート（概要説明書）

事務事業名		市立保育所管理運営事業				事業開始年度		昭和37年度		
コスト	事業費	23年度（予算）		22年度（決算）		21年度（決算）		20年度（決算）		
		報酬	21,064千円		21,064千円		21,064千円		21,064千円	
		委託料	35,850千円		35,476千円		51,210千円		62,409千円	
		需用費	246,891千円		246,514千円		239,259千円		240,962千円	
		役務費	8,898千円		29,828千円		8,380千円		8,480千円	
		工事請負費等	42,831千円		103,286千円		80,795千円		47,001千円	
	事業費合計	355,534千円		436,168千円		400,708千円		379,916千円		
	人件費	担当正職員	266人	1,902,067千円	266人	1,839,269千円	266人	1,917,852千円	263人	1,942,601千円
		嘱託員	31人	148,453千円	31人	123,369千円	31人	117,737千円	24人	97,867千円
		臨時職員	人	354,545千円	人	350,294千円	人	341,832千円	人	322,714千円
人件費合計		297人	2,405,065千円	297人	2,312,932千円	297人	2,377,421千円	287人	2,363,182千円	
総事業費	2,760,599千円		2,749,100千円		2,778,129千円		2,743,098千円			
財源内訳	国都支出金	352,977千円		376,180千円		303,815千円		302,245千円		
	地方債	千円		千円		千円		千円		
	その他特財	410,960千円		415,745千円		376,960千円		395,666千円		
	一般財源	1,996,662千円		1,957,175千円		2,097,354千円		2,045,187千円		
	財源合計	2,760,599千円		2,749,100千円		2,778,129千円		2,743,098千円		
事業実績	活動実績	【活動指標名】			単位	H22年度	H21年度	H20年度		
		延入所児童数			人	19,626	19,443	19,438		
	効率指標 (事業費/活動指標)	総事業費 / 延入所児童数				140	143	141		
事業成果	成果実績 (事業目標達成状況)	【成果指標名】			単位	H22年度	H21年度	H20年度		
		適切な保育が行われた児童数（延入所児童数）			人	19,626	19,443	19,438		
	【備考】保育に欠ける児童を保育し、その健全な心身の発達を図ることを目的としていることから、適切な保育が行われた児童数を成果指標とする。									
事業の自己評価	課題等	国で検討中の子ども・子育て新システムへの対応 施設の老朽化を踏まえた改修等 在宅子育て家庭への支援 保護者への支援								
	今後の方向性	府中市行財政改革推進プランにおいて、「民間活力の積極的な活用」が示されており、子ども子育て新システムへの対応と並行して検討をしていく。 また、平成21年度から施行された保育所保育指針に基づき保育の質の向上及び保育所の役割の拡充を図っていく。								
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	職員配置（保育士1人当たりの児童数）、保育料の考え方（国基準額の5割）は多摩地域各市でほぼ共通となっている。									
特記事項 (事業の沿革等)	三本木保育所増改築による定員増を行い、平成21年12月より定員を1,561人から1,602人とした。									

平成22年度における状況

		市立保育所	高倉保育所 (公設民営)	私立保育園
施設数		15施設	1施設	21施設
認可定員		1,602 人	143 人	2,166 人
延入所児童数		19,626 人	1,738 人	26,072 人
市歳出決算額		2,749,100 千円	246,119 千円	3,475,202 千円
財源	保育料	325,601 千円	26,006 千円	473,325 千円
	国・都支出金	376,180 千円	30,890 千円	1,384,434 千円
	基金・市債	44,000 千円	千円	228,000 千円
	その他	46,144 千円	13,231 千円	2,000 千円
	一般財源	1,957,175 千円	175,992 千円	1,387,443 千円
延長保育		19時まで:12か所 20時まで:3か所	22時まで:1か所	19時まで:14か所 20時まで:5か所 21時まで:1か所 22時まで:1か所
休日保育		0か所/15	1か所/1	1か所/21
アレルギー児対応		15か所/15	1か所/1	21か所/21
障害児保育		15か所/15	なし	14か所/21
関連事業				
一時預かり・特定保育		0か所/15	1か所/1	11か所/21
子育て相談		15か所/15	1か所/1	21か所/21
園庭開放、ひろば事業		15か所/15	1か所/1	16か所/21

事業シート（概要説明書）

事務事業名	郷土の森博物館管理運営事業	事業開始年度	昭和62年度
上位施策事業名	文化施設の充実	担当部名	文化スポーツ部
根拠法令	府中市郷土の森博物館条例	担当課・係名	ふるさと文化財課
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	英 太郎
事業の必要性・実施の背景	府中市郷土の森博物館（以下「博物館」という。）は、府中市の歴史、民俗、自然等に関する地域の資料を収集、保管、展示し、それらの博物館資料に関する情報を府中市民に広く発信すること、府中市民が意欲的に生涯学習を行い、文化の創造に参画するための教育施設であること、市民や市外からの人々が府中市の歴史、自然や文化に対する理解を深めるための拠点施設としての役割を果たすために必要不可欠な施設である。 特に、府中市という地域に根ざした博物館として、地域に暮らす市民のふるさと意識の高揚に大きな貢献をしてきた。また、市内外から年間30万人を超える入場者を数え、教育施設のみならず、市の観光拠点ともいえる東京を代表する総合博物館として成長してきた。		
目的 （何をどうするために）	市民のふるさと府中の郷土理解を深め、学習することができる知的レクリエーションの場として、またプラネタリウムや水と緑豊かな園内で、ロマンと自然の語らい、知恵の文化を考えるふるさと体験博物館として、教育施設のみならず本市の観光拠点となるべく活動を行っている。		
目標 （何がどうなれば達成か）	博物館をより多くの市民が利用していただくことで、府中で生まれ育った市民はもとより、このまちを第二の故郷として移ってきた市民が一体となって、ふるさと府中という郷土理解を深め、学習することによって、市民の文化創造を育むことが目標である。		
対象 （誰・何を対象に）	対象は、府中市民及び東京都民で、広く博物館を利用していただく方である。（対象人数：市民25万人／多摩地区の都民400万人）		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理（委託先又は指定管理者：公益財団法人府中文化振興財団）		
	<input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕（補助先： 実施主体：）		
	<input type="checkbox"/> 貸付（貸付先：） <input type="checkbox"/> その他（）		
事業内容 （手段、手法など） ※当該事業以下に細事業がある場合は、事業費とともに記載	施設管理運営委託（事業費は団体への支出内容に記載） （1）全体的なこと 博物館利用者に対するサービスの向上と安全確保、及び博物館施設と博物館資料の保全が、最も基本的で重要業務である。来館者に対するスタッフの「もてなしの心」の徹底、四季を通じた園内植栽の整備、施設管理経費の節減と有効利用などについては、指定管理者が力を入れているところである。また、突発的な事故・トラブル・クレームの発生時には、迅速で誠意を持った対応と事前予防対策に努める。 （2）個別 ①年間308日の博物館の開館業務 ②プラネタリウムを併設した博物館本館の維持管理 ③広大なフィールドを生かした四季折々の自然を交えた景観の維持管理 ④東京都指定有形文化財旧府中町役場などの復元建築物等の維持管理 ⑤ふるさと体験館などのその他の園内諸施設の維持管理		
関連事業 （同一目的事業等）	府中市立ふるさと府中歴史館管理運営事業（平成23年度予算33,033千円）		

事業シート（概要説明書）

事務事業名		郷土の森博物館管理運営事業				事業開始年度		昭和62年度			
		23年度（予算）		22年度（決算）		21年度（決算）		20年度（決算）			
コスト	事業費	報酬		千円		千円		千円			
		委託料		234,613 千円		238,554 千円		241,303 千円		233,308 千円	
		需用費		千円		千円		千円		千円	
		役務費		千円		千円		千円		千円	
		工事請負費・設計等		19,600 千円		8,684 千円		4,851 千円		15,330 千円	
	事業費合計		254,213 千円		247,238 千円		246,154 千円		248,638 千円		
	人件費	担当正職員		0.6 人	5,022 千円	0.5 人	4,371 千円	0.82 人	7,667 千円	1.04 人	9,313 千円
		嘱託員		人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員		人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計		0.6 人	5,022 千円	0.5 人	4,371 千円	0.82 人	7,667 千円	1.04 人	9,313 千円
総事業費		259,235 千円		251,609 千円		253,821 千円		257,951 千円			
財源 内訳	国都支出金		千円		2,214 千円		千円		千円		
	地方債		千円		千円		千円		千円		
	基金		150,000 千円		155,000 千円		千円		千円		
	一般財源		109,235 千円		94,395 千円		253,821 千円		257,951 千円		
	財源合計		259,235 千円		251,609 千円		253,821 千円		257,951 千円		
事業実績	【活動指標名】			単位	H22年度	H21年度	H20年度				
	活動実績			博物館開館日	日	306	307	308			
	効率指標 (事業費/活動指標)			総事業費 / 博物館開館日	千円	917	923	928			
事業成果	【成果指標名】			単位	H22年度	H21年度	H20年度				
	成果実績 (事業目標達成状況)			郷土の森博物館年間入場者数	人	313,922	307,433	306,861			
				年間プラネタリウム観覧者数	人	72,683	57,034	57,124			
				【備考】施設の維持管理が安全かつ適正に行われ、より多くの市民に来館していただくこと。							
事業の自己評価	課題等		郷土の森博物館は、開館から20年が経過し、空調関係や雨水管、園内ベンチ等の老朽化が目立っており、平成20年度まで予算の範囲内で施設改修を行ってきた。しかし、維持管理部分の大規模改修が進んでいないので、今後の大規模改修が大きな課題となっている。								
	今後の方向性		今後の方向性は、博物館としてのより魅力的な事業を企画・周知するとともに、効率的に実施し、入館者の更なる増加を図る。また、その目標を達成するために、平成21年度は一時中断となったが、引き続き博物館本館リニューアル事業を進めていくことが必要不可欠である。								
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)		国立市：くにたち郷土文化館 多摩市：パルテノン多摩歴史ミュージアム									
特記事項 (事業の沿革等)		昭和62年開館以来、多くの方々にご利用いただくとともに、ふるさと府中の貴重な歴史資料を収集・保管・活用してきた。市外からの入館者も多く、多摩地区の総合博物館として、本市の歴史・文化の拠点ともいえる教育施設である。特に、平成18年度から指定管理者制度を導入しているが、学校教育との連携など地域に根差した市民とともに育む博物館として、市民の評価も高い。また、現在本館リニューアル事業を行っており、平成20年度実施のこども歴史街道・体験ステーションコーナーも、特に児童・生徒から人気を集め、リピーターを形成している。博物館全体として、季節ごとの花々などの魅力づくりの創出、入館者へのサービスの向上、おもてなしの心での接客といった取り組みを、当該年度も引き続き行っている。									

委託・指定管理・補助 対象団体シート (概要説明書)

事業名	郷土の森博物館管理運営事業	事業開始年度	平成18年度
-----	---------------	--------	--------

団体名	公益財団法人府中文化振興財団		
-----	----------------	--	--

団体への支出根拠
(選定経過等、支出先の妥当性)

(1)当該施設の設立時から管理運営を受託し、引き続き、平成18年度からは指定管理者として、利用者数などの向上や経費の縮減が図られ、団体としての努力、経営への取り組みが評価できること。
(2)長年培われた利用者である市民等との信頼関係が確立されており、学校教育との連携や「府中」という地域特色を活かした事業など、地域に根ざした取り組みが実践されていること。
(3)当該施設が市民の教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的に設置されたことから、同様の目的をもって府中市の出資により設立された団体が管理運営することがふさわしいこと。

団体への支出内容	委託料・内訳補助金等	費目	概要	金額
		郷土の森博物館費	郷土の森博物館管理運営事業人件費	63,444 千円
		郷土の森博物館費	郷土の森博物館修繕費	9,946 千円
		郷土の森博物館費	郷土の森博物館修繕費を除く経費	217,803 千円
			郷土の森博物館23年度利用料金収入予算額	-54,408 千円
			財団自主財源充当額	-2,172 千円
				千円
委託料・補助金 総額				234,613 千円

※以下、法律で財務情報の公表が義務付けられている団体（出資比率50%以上の団体、社会福祉協議会等）については必須記入。その他、必要と思われる場合に記入。

団体概要

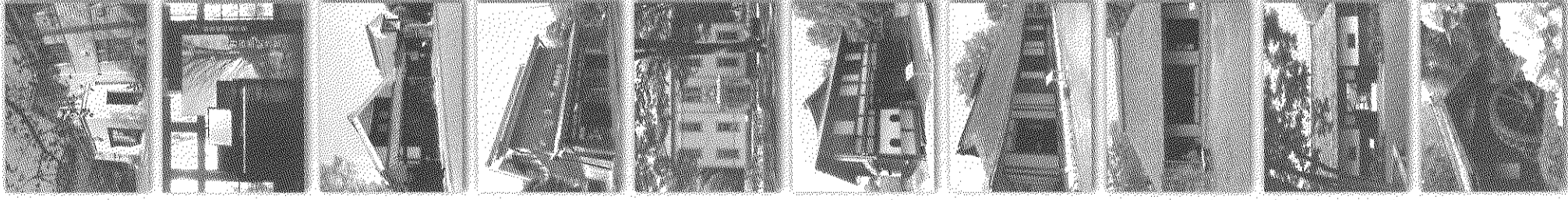
別紙資料1のとおり

資本金	800,000 千円	役員	(単位:人)	常勤	うち (出向/OB)	非常勤	うち (出向/OB)	監事	うち (出向/OB)
市出資金	800,000 千円		役員	2	2	6	0	2	0
出資比率	100 %		職員	36	0	0	0		

団体の収入概要 (平成22年度)	項目	金額	概要(詳細等)
		国からの財政支出金	千円
	都からの財政支出金	千円	
	市からの財政支出金	370,820 千円	
	委託料・指定管理料	271,359 千円	指定管理料・地域文化振興事業委託
	補助金	99,461 千円	府中市郷土の森博物館自主事業
	その他	千円	
	その他	62,691 千円	利用料金収入・財団自主財源充当額・観覧料収入・参加費収入・出版物収入・運用財産等
	総計	433,511 千円	

団体の支出概要 (平成22年度)	項目	金額	概要(詳細等)
		事業費	284,676 千円
	管理費	3,415 千円	一般事務費
	人件費	138,387 千円	人件費
	総計	426,478 千円	

利益剰余金 (または繰越欠損金)	平成22年度	7,033 千円	指定管理料及び補助金精算額
---------------------	--------	----------	---------------



1 旧府中等常高等学校

1935年(昭和10)に建設された、北多摩随一の規模を誇った木造校舎の一部を復元。教室には、昔の教科書などを展示。

2 詩人村野四郎記念館

復元された小学校の1階に併設。「ぶんぶんぶん」や「葉立ちの歌」などの作詞でも知られる府中ゆかりの現代詩人、村野四郎を紹介。

3 旧田中家住宅(府中宿の本店)

甲州街道府中宿を代表する商家を復元。明治天皇の飛狩りの際には、休憩所や宿泊所として使われた。座敷は利用可(有料)。

4 旧島田家住宅

1888年(明治21)創建の蔵造りの店(店蔵)。伝統的な工法を再現し、3年かかりで移築。「島田薬舗」の屋根看板は、明治の三筆の一人蔵谷一六の書。

5 旧府中町役場

1921年(大正10)に竣工した町役場。大正デモクラシーの息吹を感じさせる洋風建築だが、裏には和風建築が付属。東京都指定文化財。

6 旧府中郵便取扱所

明治初年、府中で最初に郵便取扱所となった旧島田家住宅。丸い郵便窓口が当時を物語る。黒い角柱形の郵便ポストも再現。

7 旧河内家住宅(ハケ上の農家)

浅間山近くの人見街道沿いにあった代表的な畑作農家。創建は江戸時代後期だが、養蚕が盛んに行われた明治時代後期の姿で復元。府中市指定文化財。

8 旧越智家住宅(ハケ下の農家)

郷土の森博物館のすぐ近くにあった代表的な稲作農家。明治に移築されたものだが、創建は江戸時代後期にさかのぼる。家の周りにはカシグネと呼ばれる防風垣も再現。

9 旧三岡家長屋門

江戸時代後期の1829年(文政12)の創建。両側の部屋を総塗り込みの蔵造りとし、その上に茅葺屋根をのせていることに特色がある。東京都指定文化財。

10 水車小屋

武蔵野に多い胸掛け式の水車を再現。かつて府中にはこうした水車が数多くあり、精米や製粉などに利用された。

開館時間

午前9時から午後5時まで(入場は午後4時まで)

休館日

月曜日と年末年始。
その他臨時休館・開館日がございますのでお問合わせください。

料金

ご入場の際には博物館入場料が必要になります。下表の他、割引回数券(11枚)もあります。

博物館入場料	個人	団体 (30名以上)
プラネタリウム観覧料	大人 200円 中学生以下 100円	大人 160円 中学生以下 80円
	大人 400円 中学生以下 200円	大人 320円 中学生以下 160円

※4歳未満は無料です。

展示解説

本館常設展示室(毎日14:30~)、復元建築物(日・祝10:30~)を解説員がご案内します。定時の他、団体等随時受付しますのでご相談ください。

お食事・売店

喫茶コーナー、ミュージアムショップ、園内売店(ハケの茶屋)の他、そば処(日、祝)、ラーメン店(土、日、祝)が営業しています。※臨時休業があります。

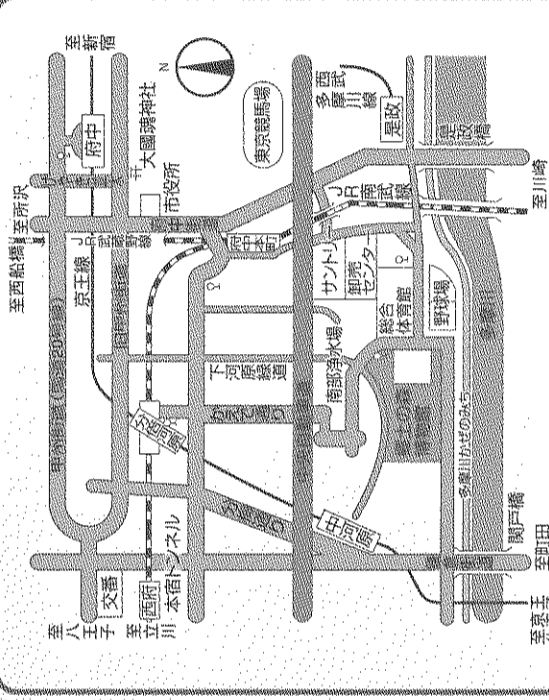
貸出し施設(有料)

会議室、茶室、和室を貸出いたします。お茶会、句会などにご利用ください。

利用上の注意

- ・園内では注意看板や係員の指示を守り、危険な場所や柵の中には入らないでください。
- ・園内での撮影には許可が必要な場合があります。
- ・草花・樹木・果実などは、持ち帰らないでください。
- ・ペットの入場は、ご遠慮ください(盲導犬、警備犬、介助犬を除く)。

交通アクセス

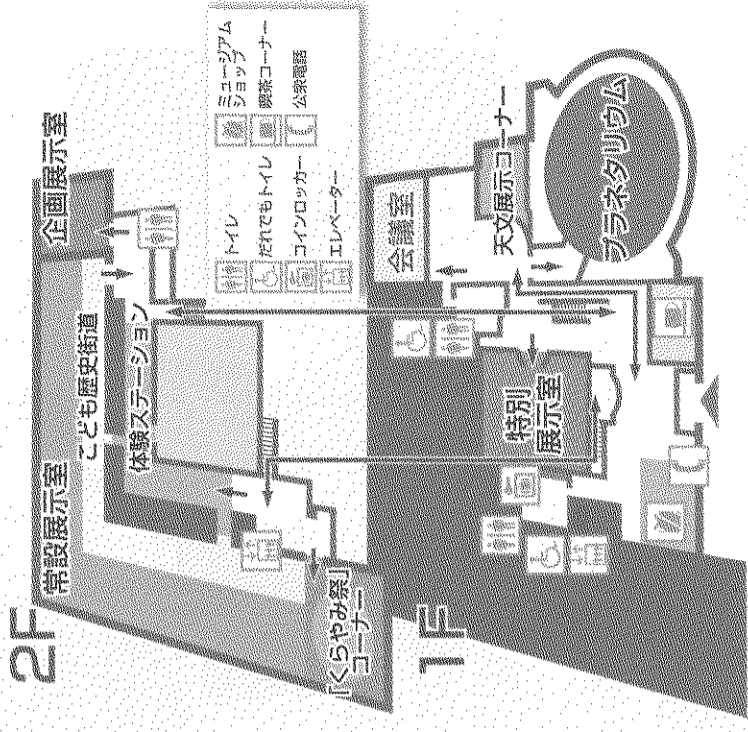


路線バス

- ・京王線・JR南武線「分倍河原駅」南側駅前ロータリーから「郷土の森総合体育館」行きバス約6分「郷土の森正門前」下車すぐ
- 府中コミュニティバス(ちゅうバス)
 - ・京王線・JR南武線「分倍河原駅」または京王線「府中駅」から南町・四谷循環バス「南町二丁目」下車徒歩6分
 - ・京王線「中河原駅」から南町・四谷循環バス「府中駅」行き「芝園稲荷神社」下車徒歩6分
- 徒歩
 - ・京王線・JR南武線「分倍河原駅」より約20分
 - ・JR武蔵野線・南武線「府中本町駅」より約20分
 - ・西武多摩川線「豊政駅」より約20分

2階 常設展示室・企画展示室

常設展示室では、府中の歴史と文化と自然を紹介しています。企画展示室では、収蔵品を中心に様々なテーマを取りあげています。



1階 プラネタリウム・特別展示室など

プラネタリウムでは、星空や迫力ある映像をお楽しみいただけます。特別展示室では、年に2、3回大規模な展示会を実施しています。ミュージアムショップ、喫茶コーナーもご利用ください。

スタンプコーナー

